

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ディーキン大学	氏名	
国名	オーストラリア	学籍番号	
留学期間	2023年 4月 ~ 2023年 10月	記入年月日	2023年 11月 25日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: Study Abroad Program - Arts and Education			
科目名	The Politics Of Asiyim In Australia And Asia	科目名	Design Thinking
授業内容	オーストラリアとアジアにおける亡命政策を、歴史的、政治的、構造的な観点から要因を学びました。	授業内容	戦略的方法・問題解決プロセスとしてのデザイン思考を、チーム活動を通じて実践しました。
授業形式	講義形式2時間	授業形式	セミナー形式2時間
単位数	1	単位数	1
サイズ	20人程度の小規模	サイズ	20人程度の小規模
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	易しい
宿題の量	予習(指定された英語論文)	宿題の量	多め(授業中に終わらなかった分をやる)
コメント	私は難民問題を学びたくてオーストラリアに留学したのもあって、この授業をとり、オーストラリアの難民政策・亡命政策についての現状を知れて良かったです。講師の方が実際にアフガニスタンからの亡命者であり、オーストラリアの難民評議会の特別顧問を務めていたなど、亡命政策・難民問題について当事者であり専門家であるという方から授業を受けられるのが貴重な機会でした。	コメント	最初の4週間はそもそもデザイン思考とは何か？について学び、その後の5週間はグループでデザイン思考のプロセスに沿って「Wicked Ploblem(厄介な問題)」の解決策を考えるという内容でした。最初はチームの中で発言することに緊張しましたが、チームメンバーがとても優しくだったのでチームとしての活動はうまくいきました。授業のほとんどがグループワークで楽しかったです。
科目名	Gender Glibalization And Development	科目名	
授業内容	日常の交流から国際政治に至るまで、ジェンダーが私たちの世界経験をどのように根本的に形作るのかを、ジェンダーとグローバリゼーションと国際開発から学びました。	授業内容	
授業形式	講義形式1時間、セミナー1時間	授業形式	
単位数	1	単位数	
サイズ	講義形式30-40人、セミナー15人	サイズ	
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	
宿題の量	予習(指定された英語論文)	宿題の量	
コメント	女子大では女性学など「女性」「男性」というカテゴリーが定数として扱われますが、そもそも女性、男性という区別ができるのか？という根本から議論するなど、新たな知見を得ることができ、とても面白かったです。セミナーでは15人の前で先生に質問するスタイルなので発言のハードルは高かったですが、先生が私の拙い英語でも、意見や発言にちゃんと耳を傾けてくれました。	コメント	

科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>語学学校: 4月から6月まではDUELIという語学学校に通っていました。クラスの半分が日本人という状態ではありませんでしたが、日本人同士でも英語で話すよう心掛けたり、席に座るときに外国人のクラスメイトの隣に座ることを心がけました。</p> <p>学部授業: 講義形式の授業はスライドがあるため先生の話を理解することができましたが、セミナー形式だと学生と先生がネイティブの速い英語で話してしまうため、何を議論しているかわからない状態になりました。私はどの授業でも英語がネイティブな友達をつくり、分からなかったときに何を議論していたのかあとで聞くようにしていました。また、先生に毎回授業後に質問しに行くことによって、分からなかったことを解消しました。質問紙に行くと、自分が留学生であることも認知してもらえるので、質問の回答は分かりやすい英語で答えてくれました。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>環境サークルに所属し、大学の敷地内のガーデニングをしたり、木の苗を植えるボランティアに参加しました。</p> <p>音楽サークルにも所属し、ジャムセッションに参加して、メンバーが歌う曲のギターを即興で弾いたりしました。(ギターはホストファミリーがプレゼントしてくれました。)</p> <p>語学学校が終わった7月からボックスヒル駅の中のフードコートにある日本食でアルバイトを始めました。ホストファミリーにボックスヒルは食べ物屋がたくさんあり、雇ってもらいやすいのではないかとわれ、レジュメを直接提出したら、雇ってもらえました。週2回、9時-17時で働きました。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>ホームステイ(大学まで徒歩30分、トラムで20分、シティまではトラムで1時間)に滞在しました。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>2階建てで、1回はキッチン、リビング、トイレ・シャワー、ホームステイ学生の部屋が3つあり、2回はホストファミリー専用でした。部屋はとても広く快適でした。部屋には電気毛布付きのベッド、机、クローゼット、小さい冷蔵庫がありました。シャワーの時間や洗濯の回数も特に決められず、とても優しいホストファミリーでした。ホストファミリーは旦那さん、奥さん、ペットの猫でした。</p> <p>部屋について</p> <p style="text-align: center;">1 人部屋 広さ 8 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>私以外に常に2人ホームステイしている学生がいる状態で、日本人が多かったです。時々韓国人や中国人の子も来ました。私は6カ月の滞在でしたが、1か月くらいの短期でホームステイする学生も多く、入れ替わりが激しかったです。基本的に食事の時やリビングに集まる時は英語で話すよう心がけていましたが、どうしても日本語で話してしまう場面は多かったように思います。ただ、かけがえのない出会いができたと思っています。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>基本的にはそろっていて、シャンプー等は自分で購入しました。寝具の選択等はホストファミリーが行ってくれました。</p> <p>生活の感想</p> <p>私のホストファミリーは本当に優しく、いわゆる「当たり」でした。ご飯もおいしく、親身に話してくれたり相談に乗ったりしてくれました。しかし、友達はホストファミリーからの制限が厳しく、シャワーが5分しか浴びれなかったり、毎日シャワーを浴びることができなかったり、門限が厳しかったりいろいろ苦労している人もいたため、一概にホームステイをお勧めすることはできません。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>朝はシリアル、昼は昨日の夜の残りをお弁当にしてくれる、夜はホストファミリーがおいしい料理を作ってくれました。フィリピン系でしたが、料理はパスタ、カレー、ステーキなど、種類が豊富で、食事に困ったことは全くありませんでした。</p>

6	医療保険についてお書きください																																										
	渡航前に加入した保険																																										
	OSSM +AIG海外旅行保険 契約タイプWS4 重複している部分もあったためOSSMAPlus+上乘せ海旅をお勧めします																																										
	留学先大学にあった医療保険制度																																										
	OSHC																																										
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)																																										
	特になし																																										
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)																																										
	(現地通貨)																																										
	<table border="0"> <tr> <td>渡航旅費</td> <td></td> <td>147,000 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td>1,055</td> <td>98,496 円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td></td> <td>187,818 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td>4,650</td> <td>432,450 円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td>8,160</td> <td>758,880 円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td></td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td></td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td>9,485</td> <td>(ホームステイ)882105 円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td>480</td> <td>44,640 円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2,751,389 円</td> </tr> </table>	渡航旅費		147,000 円	帰国旅費	1,055	98,496 円	引越し(往復で)		円	保険		187,818 円	語学研修費	4,650	432,450 円	留学先学費	8,160	758,880 円	本学学費		200,000 円	教材費		0 円	住居費	9,485	(ホームステイ)882105 円	食費	480	44,640 円	その他()		円	()		円	()		円	合計		2,751,389 円
渡航旅費		147,000 円																																									
帰国旅費	1,055	98,496 円																																									
引越し(往復で)		円																																									
保険		187,818 円																																									
語学研修費	4,650	432,450 円																																									
留学先学費	8,160	758,880 円																																									
本学学費		200,000 円																																									
教材費		0 円																																									
住居費	9,485	(ホームステイ)882105 円																																									
食費	480	44,640 円																																									
その他()		円																																									
()		円																																									
()		円																																									
合計		2,751,389 円																																									
	換算率 (1AUD = 93 円)																																										
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください																																										
	業務スーパー奨学金15万×4か月=60万、卒業生の寄付による派遣留学生奨学金 55万																																										
8	留学前の準備について教えてください																																										
	日本から持参すべきもの																																										
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンコート(5月-8月に渡航する場合は必ず持って行ったほうが良いです。とても寒いです。) ・リップクリーム(乾燥がやばいです) ・コスメ、スキンケア類(私は肌が弱いので海外のものを使うのに少し抵抗があったため、多めに持っていきました) ・変換プラグを複数(1個しか持っていかなかったのですが、パソコンと携帯を同時に充電できずに不便だったので複数あると良いです) ・胃腸薬(日本では一度も下痢になったことがなかったのですが、なりました。正露丸やビオフェルミンを持っていくことをお勧めします) 																																										
	留学前にしておけばよかったこと																																										
	私は海外でデータ通信ができる楽天モバイルを使っていて、月に2ギガまでなら980円で使えて便利でした。大学や家ではWi-Fiに繋いでいるので、2ギガでも生活できました。しかし、銀行口座を作るためにオーストラリアの電話番号がないと行けなかったのでのみち現地のSIMが必要でした。海外にいても日本の電話番号を保持したい人や、銀行口座を作る予定がない人は楽天モバイルのSIMを持っておくと入国後すぐ携帯が使えて便利だと思います。あとは世界でも人気なマーベル作品、DC作品などは見ておくと海外の友達と共通の話で盛り上げられるので見ておけばよかったと思いました。																																										

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>乗り物酔いがひどかったです。トラムやバスに6か月間適応することができず、気持ち悪くなりながら乗っていました。学習面では、膨大な量の英語の論文を読むのに適応することが難しかったです。せっかく留学に来ているんだからと全部英語を読もうとすると絶対に挫折をするので、適度に翻訳機能を使いながら、内容を日本語で理解してから、英語でどのような表現がなされているのかを確認していました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>英語力でいうと、スピーキングとライティングが圧倒的に上達しました。今まで英語で話そうとするとすぐ言葉に詰まって文法がぐちゃぐちゃになってしまっていたのですが、今は友達と流暢に会話できるくらいにはスピーキングが上達しました。ライティングは、essayの書き方・構造や引用の仕方をも学んだため、上達しました。</p> <p>学習した内容でいうと、私は選んだ3つの授業を受講して本当に良かったと思っています。難民の授業では、私は日本の難民政策に関して問題意識を持っており、多文化共生社会のオーストラリアはもっと難民政策に対して寛容であるという仮説の元留学しましたが、実際はオーストラリアにも深刻な問題があるということがわかりました。ジェンダーの授業では、女子大ではあまり扱われない、そもそも女性・男性と二元化できるのかという話や、ジェンダーとグローバルイゼーション、ジェンダーと開発という複数観点から議論できたことで自分に新たな観点が生まれました。精神面に関しては、なんでもチャレンジしてみるという精神が強くなったと思います。例えば大学のサークルや、難民問題の講演会に1人で参加するなど、興味のあることにたくさんチャレンジしました。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>卒論で難民問題について扱おうと思います。</p> <p>就活はオーストラリアにいるときから始めていましたが、現在は海外にシェアを伸ばそうとしている消費財メーカーに就職したいと考えています。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学する上で、何を学びに行くのか？何のために行くのか？を言語化したうえで留学すると良いと思います。私は難民問題について学びたいと思い留学しました。その結果、授業も主体的に参加することができましたし、オーストラリアで行われる難民まつわるイベント等にアンテナを高く張って、様々な機会を取ることができました。実りのある留学にするためには、目的が一番大事だと思います。</p> <p>留学生活は、自分が主体的にいろんな会期に参加することで友達もできますし、自分の視野が広がる経験になると思います。是非1日1日を無駄にせず、様々なことにチャレンジして、自分の知見と人脈を広げてほしいです。コロナで諦めかけていた留学に挑戦して良かったと心から思っています。これから留学に行かれる皆さん、体調には気を付けて、楽しい留学生活をお過ごしください。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>コーヒー好きな方はぜひカフェめぐりしてみてください！Instagramで情報収集するのがおすすめです。</p> <p>アルバイトをしたお金で、ウルル(エアーズロック)とケアンズに行きました。とくにウルルは日本からの直行便がないため、旅行に行くことをお勧めします！</p> <p>直接留学経験を聞きたい等があれば、国際センターにご相談いただければと思います。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



語学学校のクラス写真



仲良くなったタイとアメリカからの留学生の友達と遊びに行った写真



ホストファミリーとハウスメイトの写真



グレートオーシャンロードのツアーに参加したときの写真。
全員ディーキン大学の留学生で、
出身はアメリカ、インドネシア、フランス

UNHCRのキャンベラの副局長の講演会を聞きに行った時の写真。

